

製品名: JAK2 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21334**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:10000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:131kD;Observed MW:131kD

抗原情報

遺伝子名	JAK2
別名	Tyrosine-protein kinase JAK2 (EC 2.7.10.2) (Janus kinase 2) (JAK-2)
遺伝子 ID	3717.0
SwissProt ID	O60674
免疫原	標的タンパク質に対応する合成ペプチド

背景

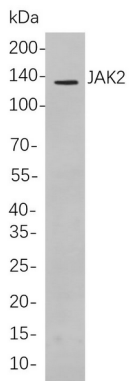
細胞局在: 細胞質、核。この遺伝子産物は、サイトカイン受容体シグナル伝達経路の特定のサブセットに関与するタンパク質チロシ

ンキナーゼである。プロラクチン受容体と恒常的に結合し、 γ インターフェロンへの反応に必須であることが分かっている。この遺伝子の活性タンパク質を発現しないマウスは、胎児致死を呈し、最終的な赤血球生成が阻害される。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]

研究分野

-

画像データ



K562 細胞ライセートのウェスタンブロット解析

JAK2 ウサギ mAb を用いた。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG 抗体を用いた。